

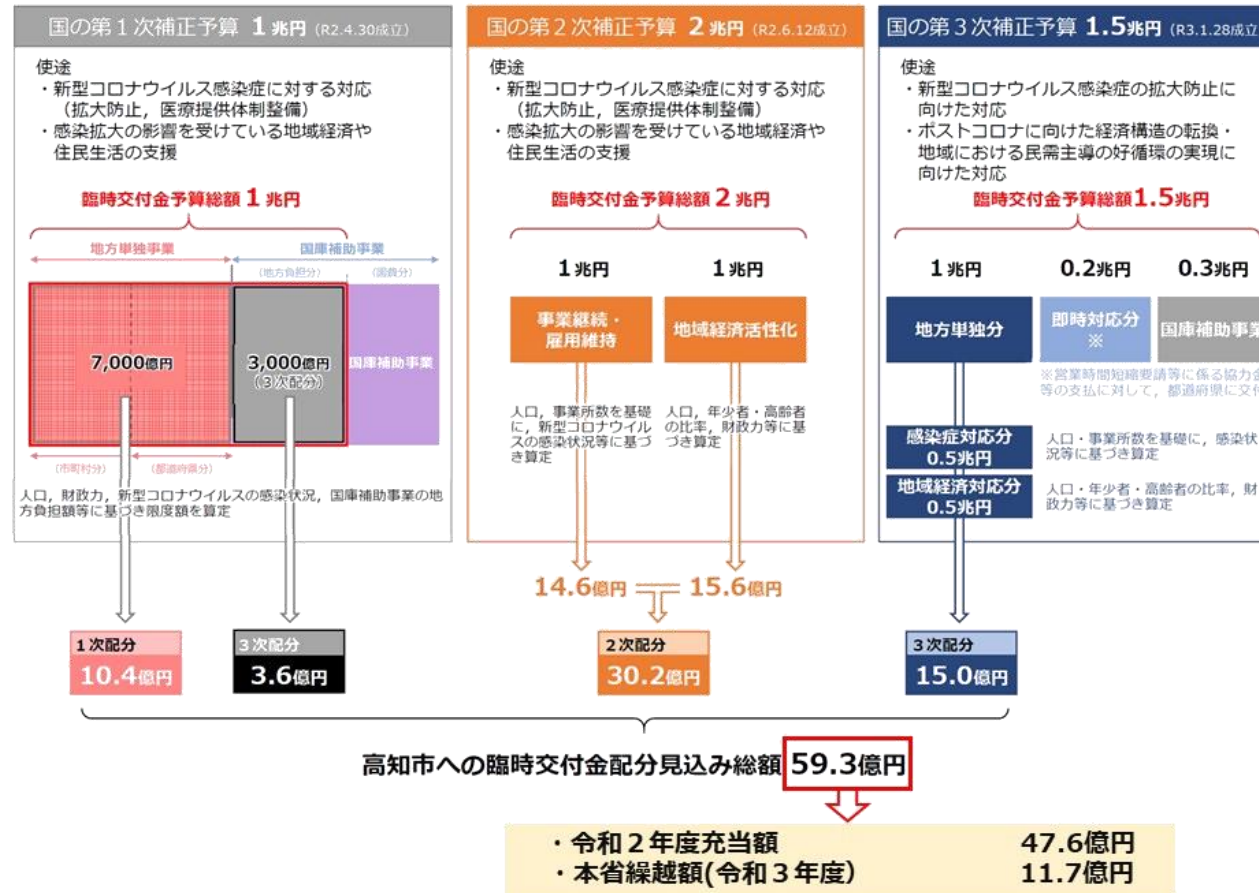
新型コロナウイルス感染症対策に係る  
令和2年度実施事業の効果検証等について

令和4年7月  
高知市

# 1 はじめに

令和2年度における新型コロナウイルス感染症対策は、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下「臨時交付金」という。）なども活用して様々な事業を実施しました。臨時交付金を活用して実施した事業については、事業終了後に効果を検証し結果を公表することとされています。今後も、この評価・検証結果を踏まえ、市民の生活を守り、地域経済活動の維持・回復に向けて、効果的かつ効率的な事業を実施していきます。なお、令和2年度における臨時交付金の本市への配分額は以下のとおりです。

【参考】国の補正予算及び本市への配分額（令和2年度）



※端数調整のため計算が合わないことがある。

## 2・評価・検証結果

### (1) 市民の感染拡大防止対策

※事業は高知市対処方針（令和2年4月17日（令和3年3月11日ver.8））を参考に分類しています。

No.	補助 単独	事業名	事業の概要（目的・内容）	事業実施期間		総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	実績（実施状況）	事業の効果検証・結果	
1	単	避難所衛生用品等確保事業費	避難所での感染症対策として衛生用品等を備蓄するもの。	2020.5	～	2021.3	38,369,418	23,368,000	不織布マスク、消毒用品、フェイスシールド等を購入し、市内の避難所194施設に配備した。	避難所に感染症対策用の消耗品・備品等を配備することにより、避難所を開設した場合の感染症拡大防止の強化につながった。
2	単	高齢者施設衛生用品確保事業費	高齢者施設でのクラスター発生リスクの低減のため、高齢者施設での感染症対策として衛生用品を購入するもの。	2020.6	～	2020.9	649,440	649,000	アルコール消毒、ウェットティッシュ、バイタル測定器、プラスチックグローブ、ガウン、窓口等除菌用洗剤、マスク、飛沫防止パネル、シューズカバー、フェイスシールド、体温計（非接触）等を購入し、地域包括支援センターに配備した。	地域包括支援センターに感染症対策用の消耗品、備品を配備することにより、来庁者・職員間の感染症拡大防止の強化につながった。
3	単	介護保険施設等衛生用品確保事業費	介護保険施設での感染症対策として衛生用品を購入するもの。	2020.6	～	2020.11	1,387,804	1,387,000	マスク、使い捨てエプロン、フェイスシールド及び使い捨て手袋を購入し、感染者が発生した介護事業所等に配布した。	感染者が発生した介護事業所等に衛生用品を配布することにより、感染症の拡大防止につながった。
4	単	感染症診査協議会委員報酬	新型コロナウイルス感染症の診査に係る協議会を開催し、委員報酬を支払うもの。	2020.4	～	2021.4	273,600	273,000	新型コロナウイルス感染症の診査に係る協議会を12回開催した。	感染症診査協議会の実施により、コロナ禍において人権に配慮した適切な医療を提供するための必要な措置を講じることができた。
5	単	民間保育所等衛生用品確保事業費	民間保育所等での感染症対策として衛生用品を購入して配布するもの。	2021.6	～	2022.3	22,184,631	21,453,000	消毒用アルコール、不織布マスク、使い捨て手袋等を購入し、民営保育所等149施設に配布した。	保育所等に感染症対策用の消耗品を配備することにより、感染症拡大防止の強化につながった。
6	単	放課後子ども教室衛生用品確保事業費	放課後子ども教室での感染症対策として衛生用品を購入するもの。	2020.4	～	2021.3	216,112	216,000	不織布マスク、消毒用品等を購入し、市内の7小学校・義務教育学校7施設に配備した。	放課後子ども教室に感染症対策用の消耗品・備品等を配備することにより、開設した場合の感染症拡大防止の強化につながった。
7	単	母子保健衛生用品確保事業費	母子保健事業（健診・育児相談等）での感染症対策として衛生用品を購入するもの。	2020.6	～	2021.4	322,083	322,000	不織布マスク、消毒用品、パーテーション、フェイスシールド等を購入し、健診時等において活用した。	避感染症対策用の消耗品・備品等を活用することにより、感染症拡大防止の強化につながった。
8	単	総務管理費	文化・スポーツ系施設及び庁舎・学校等の感染症対策として衛生用品やTV会議用の機器等を購入するもの。	2020.4	～	2022.3	11,875,820	7,147,000	文化施設、庁舎、学校等の感染症対策としてマスク、消毒液、体温計等の購入を行ったほか、たかじょう庁舎及び高知市教育研究所に遠隔教育機器（テレビ会議用機器）を整備した。 高知市立学校の感染症対策として衛生用品等を配備した。	文化施設、庁舎、学校等において、手指消毒や体温測定等の感染症対策の徹底を行ったほか、庁舎や高知市教育研究所から、テレビ会議やオンライン研修等を実施することにより、新型コロナウイルス感染拡大防止の効果があつた。 高知市立学校に衛生用品等を配備することにより、新型コロナウイルス感染症等の感染症拡大防止の効果があつた。
9	単	公園管理費	わんぱくこども施設内を消毒するもの。	2020.4	～	2020.6	1,398,320	1,398,000	わんぱくこどもプレイルンド従業員の新型コロナウイルス感染を受け、翌日から当該施設を臨時休園し、高知県ベストコントロール協会による施設内消毒3915.28㎡（内訳：わんぱくこどもプレイルンド2,038㎡、アニマルランドふれあい広場190㎡、アニマルランドトイレ131.35㎡、わんぱくこども管理棟507.44㎡、現場詰所1048.49㎡）を実施した。	臨時休園・消毒及び乾燥を実施し、施設内の安全を確認してから再開したことで、当該施設に係る新規感染者は発生しなかった。
10	単	オーベルジュ土佐山新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費補助金	中山間地域の活性化・振興を図る施設であるオーベルジュ土佐山の指定管理者が行う感染拡大防止対策（消耗品等購入）に対する補助するもの。	2020.11	～	2021.3	1,000,000	1,000,000	オーベルジュ土佐山の指定管理者が購入した不織布マスク、消毒用品、非接触式体温計等に対して、補助金を交付した。	中山間地域の活性化・振興を図る施設であるオーベルジュ土佐山の指定管理者に感染症対策用の消耗品等の購入に対する補助をすることにより、感染症拡大防止の強化につながった。
11	単	文化施設利用者補助金	感染拡大防止のため本市文化施設において、使用者に対して定員の50%制限を要請しており、芸術文化活動への支援として、施設使用料の50%相当額について支援を行うもの。	2020.8	～	2021.3	7,078,100	7,078,000	令和2年5月25日から令和3年3月31日までの間、文化プラザ他2施設の大ホール等で、適切な感染症対策を講じながら文化芸術利用を行った利用者に対して、施設使用料の50%相当額を支援した。	合計で65件の支援を行った。 補助利用者から「補助があつたので、大きなホールを使用することができて、より十分な感染症対策を行えた。」、「中止するか迷っていたが、補助があつたので感染症対策を行いつつ実施することができた。」といった声があり、感染症対策はもとより、施設の利用促進にも寄与したと考えられる。
12	単	総務管理費（社会体育）	本市スポーツ施設での感染拡大防止対策として、衛生用品を確保するもの。	2020.8	～	2020.9	457,600	457,000	非接触式体温計18台（ガンタイプ10台、固定式8台）購入し、スポーツ施設2施設に配備した。 課の窓口対応用パーテーション用スタンド4台を購入して窓口に設置した。	スポーツ施設に感染症対策用に非接触式体温計を配備することで、来場者の感染拡大防止の強化につながった。 課の窓口対応時の感染対策を講じたことで、来庁者及び職員への感染拡大防止の強化につながった。
13	単	農産物集出荷施設等整備事業費補助金	新たな生活様式への対応として農産物の流通及び販売体制を維持・強化するため、JA等事業者が行う、集出荷施設等における接触機会の低減や換気のための空調機能強化に係る改修経費の一部を補助するもの。	2020.12	～	2022.3	77,262,000	23,451,000	市の農産物集出荷施設について、補助金を交付した。	機械の高度化、増設等を行うことにより、作業時間の短縮、作業員間の接触低減が図られ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが低減された。
14	単	畜場感染拡大防止対策事業費	畜場待合ロビーの感染症対策として、消毒作業等が容易となるテーブルや椅子等を購入するとともに、パーテーション等を設置するもの。	2021.1	～	2022.3	9,269,680	9,269,000	衛生面に配慮したメラミン化粧板のテーブル28台、抗菌・防汚・耐次亜鉛素酸のチェア36脚、独立型のソファ81脚を購入した。	感染症対策用の消耗品・備品等を配備することにより、感染症拡大防止の強化及び施設利用者（ご遺族等）の安心につながった。
15	単	一般事務費（選挙管理委員会）	選挙時における投票所での新型コロナウイルス感染防止対策のための衛生用品等を購入するもの。	2020.8	～	2020.12	2,759,877	2,759,000	不織布マスク、アルコール消毒液、ビニール手袋、使い捨て鉛筆、フェイスシールド、拭取り消毒用クロス等を購入した。	感染症対策用の消耗品一式は、令和3年10月執行衆議院議員総選挙時に活用し、有権者および投票事務従事者の感染防止に役立った。
16	単	インフルエンザ予防接種費用助成事業費	新型コロナとインフルエンザの同時流行を防ぎ、医療機関の負担軽減や、医療機関の混雑による新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、満1歳～高校3年生までの子どもを対象に予防接種費用の一部を助成するもの。	2020.9	～	2021.3	39,195,756	39,195,000	満1歳から高校3年生までの子どもを対象に、令和2年10月から12月までに接種したインフルエンザ予防接種費用について、1回当たり1,000円を上限として助成を行った。 申請のあつた対象者36,383件の助成を行った。	新型コロナウイルスとの同時流行を防ぐとともに、医療機関の負担軽減につながつたと考える。
17	単	勤労者交流館管理運営費	勤労者交流館における感染防止対策に係る指定管理者への委託料を支出するもの。	2020.4	～	2020.5	50,138	50,000	非接触式サーマルカメラ検温器（アルコール噴霧器付き）、アクリルパーテーション、アルコール消毒液を購入し、施設玄関等に設置した。	施設を利用する市民や、施設職員のコロナウイルス感染症の拡大防止対策の強化につながった。
18	単	インフルエンザ予防接種事業費	県が行うインフルエンザ定期接種に係る自己負担分の助成に伴い増加した接種費用を支払うもの。	2020.10	～	2021.4	43,703,893	43,703,000	インフルエンザ定期接種に係る自己負担分(1,100円)を64,143人に対して助成した。	インフルエンザ予防接種の接種率が、令和元年度52.9%から令和2年度は69.7%に上昇しており、自己負担分助成の効果と考える。
19	補	文化芸術振興費補助金	（文化施設の感染症防止対策事業） 文化プラザ「かるぼーと」における感染症対策として、サーマルカメラ・消毒用アルコール等を購入するもの。	2020.10	～	2021.2	1,507,770	753,000	サーマルカメラ、手指消毒液、施設用消毒液を購入し、ホール、ギャラリー等に配備した。	多くの催しが中止となり、利用が減少している状況ではあるが、積極的な対策を講じていることが利用者の安全安心につながっており、本施設での感染は発生していない。
20	補	障害者総合支援事業費補助金	（障害福祉サービス等の衛生管理体制確保支援等事業） 感染症対策として障害福祉サービス事業所等が行う衛生用品確保や施設消毒に係る費用を助成するとともに、医療的ケア時者への配布等のための衛生用品を確保するもの。	2020.6	～	2021.3	31,030,283	10,343,000	①障害者支援施設等へ配布用（備蓄含む）衛生用品等、医療的ケア児者へ配布用手指消毒用アルコール（備蓄含む）を高知市が直接購入し必要に応じて配布 購入額：2,067,120円 ②障害福祉サービス事業所等が感染症対策として購入した衛生用品（不織布マスク、消毒用品、パーテーション、フェイスシールド等）の費用を法人に対して補助金として交付 対象法人数：64法人 交付額：28,963,163円	①医療的ケア児者に品薄となっていた手指消毒用アルコールを配布するとともに、障害者支援施設等へ不足となった衛生用品を配布することで、感染症対策拡大防止の強化につながった。（備蓄もあり今後の備えとなっている） ②衛生用品購入費用を補助することにより、感染症拡大防止の強化となるとともに法人負担が軽減された。
21	補	疾病予防対策事業費等補助金（新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業に限る）	（新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業） 感染症対策として、高齢者施設等に入所する者が希望してPCR検査を受けの際の費用を助成するもの。	2021.1	～	2021.4	800,000	400,000	高齢者施設等への入所前の希望者に対して、計40件の検査を実施した。	検査を実施した40件のうち、1件は陽性となり施設内での感染症拡大防止に寄与した。また、事前に陰性判定があることで、施設側も入所に際して、感染症拡大に対する不安の払拭につながった。
22	単	日常生活用具給付事業費	網膜色素変性症等で日常生活に支障がある方が、夜間の単独での通勤や通学、買い物等を安全に行えるようにするために、暗所視支援眼鏡を支給するもの。	2021.4	～	2022.3	2,541,800	2,541,000	申請・交付件数 7件 2,541,800円	網膜色素変性症等による夜盲症等で、日常生活に支障のある方が、コロナ感染下におけるガイドヘルパーとの密着を回避するために暗所視支援眼鏡を支給したことで、感染リスクを下げるにつながった。
23	単	総合運動場陸上競技場管理棟・宿泊棟において、感染症対策のための換気を行うために必要な空調設備の更新・機能強化を行うもの。	総合運動場陸上競技場管理棟・宿泊棟において、感染症対策のための換気を行うために必要な空調設備の更新・機能強化を行うもの。	2021.4	～	2021.10	128,260,000	128,260,000	令和3年度に陸上競技場管理棟・宿泊棟の空調設備の更新整備を行った。	陸上競技場管理棟・宿泊棟の空調設備を更新し、機能強化を行うことにより、感染拡大防止の強化につながった。
24	単	二段階移住支援事業費	「新しい生活様式」に対応した移住希望者の受入環境整備として、お試し滞在施設にWi-Fi環境を整備するもの。	2021.2	～	2021.3	39,000	20,000	無線LAN機器（ルーター）及びケーブルを購入し、お試し滞在施設である「いっく」4号室に設置した。	令和3年7月1日に開設した「いっく」4号室は、Wi-Fi環境を整備し、移住希望者のテレワーク等が可能になったことで、95.5%（令和4年2月末時点）の稼働率につながつたと考えられる。

(2) 市民生活の支援

No.	補助単独	事業名	事業の概要(目的・内容)	事業実施期間			総事業費(円)	交付金充当額(円)	実績(実施状況)	事業の効果検証・結果
25	単	民営保育所等副食費負担軽減事業費補助金	民営保育所等に対して、感染拡大防止に伴う休園対応等の家庭保育協力要請及び園児が感染者・濃厚接触者となった場合の欠席による副食材料費の保護者負担分を支援するもの。	2020.4	～	2021.5	6,775,595	6,775,000	令和2年4～5月の緊急事態宣言期間中における臨時休園対応により欠席した保育所等の在園児のほか、感染者及び濃厚接触者となり欠席した児童の副食費について負担軽減を実施した。	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた家庭等の経済的・精神的負担の軽減に寄与することができた。
26	単	ひとり親世帯応援給付金給付事業費	国2次補正による「ひとり親世帯臨時特別給付金」の支給に合わせ、市独自の上乘せ給付(5万円)を行うもの。	2020.7	～	2021.5	195,205,740	195,205,000	新型コロナウイルス感染症の影響で心身等に大きな負担が生じているひとり親世帯を支援するために高知市独自の給付金として、一世帯あたり5万円を支給した。3,903世帯の低所得のひとり親世帯に給付済。	新型コロナウイルス感染症の影響による子育ての負担増加や収入減少に対する支援につながった。
27	単	プレマママ応援給付金給付事業費	心理的・経済的な負担を軽減し、安心して出産を迎えることができるよう、妊産婦に対して生活を応援する給付金を支給するもの。	2020.7	～	2021.2	142,993,581	142,993,000	出産(予定)日が令和2年4月28日から令和3年1月11日までの方で、高知市に住民票のある方を対象に10万円を支給した。	支給対象者から「助かる」といった声があり、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、出産までの間、不安を抱えて過ごすこととなった妊婦の心理的・経済的な負担の軽減に寄与したと考えられる。

(3) 中小企業等の事業継続に向けた支援

No.	補助単独	事業名	事業の概要(目的・内容)	事業実施期間			総事業費(円)	交付金充当額(円)	実績(実施状況)	事業の効果検証・結果
28	単	公共交通緊急支援事業費補助金	厳しい経営状況におかれている路線バス事業者に対して生活バス路線の運行に係る経費を支援し、事業継続支援を行うもの。	2020.7	～	2021.5	32,442,000	32,442,000	路線バス運行費補助金の拡充 補助対象事業者数：1社 補助金交付額：32,442千円	路線バス運行事業者を支援することで、コロナを理由とする路線の廃止・減便等を生じさせることなく、市民の移動手段を維持することにつながった。
29	単	高知県休業等要請協力金負担金	高知県実施の休業等要請に応じた県内中小企業または個人事業主の事業継続支援に対する県への負担金を支払うもの。	2020.6	～	2020.10	187,900,000	187,900,000	高知県が高知県新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態措置等(令和2年4月22日)に基づく要請に応じ、令和2年4月24日から5月6日までの期間に、施設の使用停止又は営業時間の短縮を実施した事業者に対し支給する、高知県休業等要請協力金のうち、本市に所在する施設を運営する事業者の数に1事業者当たり10万円を乗じて得た額を負担した。 支給件数：1,879件	期間中の施設の使用停止又は営業時間の短縮を実施した事業者への事業継続支援及び新型コロナウイルス感染症の感染防止に寄与できた。
30	単	事業者支援給付金給付事業費	国の持続化給付金の対象外となる中小事業者・個人事業者等(売上が20%以上50%未満の減少)に市独自の支援金を給付するもの。	2020.6	～	2021.4	226,495,949	226,495,000	新型コロナウイルス感染症拡大により、影響を受けている本市に本店、又は支店もしくは事業所を有する事業者に対し、事業継続を支援することを目的に、給付金を支給した。 【給付額】 中小法人等：上限200千円 個人事業者：上限100千円 【給付実績】 中小法人等：642件 個人事業者：807件	国の持続化給付金の対象とならない事業者についても広く支援することができ、本市内の事業者の事業継続に寄与できた。
31	単	日曜市新型コロナウイルス感染症対策協力金	街路市への出店の休業要請及び街路市中止への協力金による支援を行うもの。	2020.6	～	2020.8	10,530,000	10,530,000	対象となるR2年1月～5月の間に1回でも出店をした方のうち、申請のあった351名に3万円/名を支給した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために日曜市出店自粛要請(R2年3月～5月)、開催時間の短縮(6日)や開催中止(4日)を行ったことに対する協力金の給付により、事業継続に寄与できた。
32	単	花き活用拡大支援事業費	JA高知市に対して、消費が減退している花きを公共施設等で活用するとともにその活用拡大を促進するもの。	2020.6	～	2021.1	3,200,000	3,200,000	花き生産者及び生花店等の方々を支援するため、本市産花きのPRを行い、市民への需要喚起、購入促進を図った。 ①花きの展示：市役所・オーテピアで31の生花店・華道協和会所属流派により、44作品を展示(6/25～12/4まで) ②花のアレンジメント教室：全4回(延べ66名参加) ③フォトコンテストの実施：全5回実施(延べ89人、238点の応募。うち40名の入賞者にアレンジ花をプレゼント)	・展示担当生花店にJA高知市各出荷場より2,490本を出荷したほか、市場にて高知市産(新三里、春野産、個人出荷)及び高知県産花きを積極的に購入していただいた。 ・市役所・オーテピアの公共の場での花き展示により、広く市民にPRできた。 ・フォトコンテストの実施により、日常生活での花きの使用を促すことができた。(受託者であるJA高知市のインスタグラムフォロワー数は240人から600人と、約360人の増加) ・花のアレンジメント教室では大人向け・親子向け教室をそれぞれ開催し、花への興味を促すことができた。 ・生花店に対して「高知市産の花」をPRでき、展示以外の他のイベントにおいても積極的に高知市の花を活用いただけた。 以上のことから、消費が減退している花きの活用拡大を促進するという当初の目的を達成したと考えられる。
33	単	旅客運送事業者経営維持支援給付金給付事業費	市民の生活基盤を支える交通事業者である乗合バス・路面電車・タクシー事業者に対して、事業継続支援を行うため、交通事業者に対して事業規模(保有車両台数)に応じて支援を行うもの。	2020.8	～	2020.12	304,650,000	304,650,000	経営維持支援給付金の給付(給付金総額304,650千円) 給付対象事業者数(台数)/給付金額： 路面電車1社(64台)/16,000千円 路線バス2社(138台)/48,300千円 高速バス3社(60台)/15,000千円 貸切バス3社(69台)/17,250千円 法人乗用タクシー33社(648台)/162,000千円 個人乗用タクシー140社(140台)/35,000千円 福祉限定乗用タクシー21社(38台)/9,500千円 デマンド型乗合タクシー5社(8地域)/1,600千円	経営維持支援を行うことで、コロナを理由とする廃業等を生じさせることなく、事業者の経営維持につながった。
34	単	就労継続支援事業費補助金	生産活動収入の減少により減収となった障害福祉サービス(就労継続支援B型)事業所への支援を行うため、事業規模に応じた支援金を支払うもの。	2020.10	～	2021.7	12,058,995	12,058,000	生産活動収入の減少により減収となった障害福祉サービス(就労継続支援B型)事業所への支援を行うため、事業規模に応じた補助金を交付した。 対象事業所数：18事業所	補助金を交付することにより、新型コロナウイルスの影響を受けた事業所の負担軽減となった。(利用者の工賃が担保された)
35	単	地産地消拡大事業費補助金	農林産品等の早期需要回復と本市産農産物の消費拡大を図るため、市内直販店においてスタンプラリーを実施する高知市直販所協議会に対して、必要となる経費を補助するもの。	2020.7	～	2020.11	4,899,034	4,899,000	令和2年11月1日～令和3年2月28日の4か月間スタンプラリーを開催した。 応募者総数は、1,523名。 当選者総数は、600名。 当選者に対して、5,000円分相当の農産物(加工品含む)をプレゼント。	【前年同月比】 参加直販所10か所 売上：102.5% 来店者数：97.87% 新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、売上は増加しており、来店者数についても、外出自粛があったものの、前年とほぼ同値であったことから、本市農産物の消費拡大につながったと考えられる。
36	単	T SUNAGUマーケット開催事業費	売上げ低迷・過剰在庫を抱える県内事業者への経済対策支援として、事業者と消費者を「つなぐ」イベントを開催するもの。	2020.9	～	2021.3	47,319,281	47,319,000	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、売上げ低迷や過剰在庫を抱えた事業者の販売機会拡大のためのイベントを実施したほか、来街者が減少している中心商店街等への誘客を図るための事業を実施した。 ①地産地消マーケットの開催(2回) ②民放3局による自社制作番組での特集の放送 ③商店街動画制作(5か所) 事業委託費：47,320千円	①地産地消マーケット 【1回目(R2.10.3～4)】 来場者数/14,000人、売上/6,284千円 【2回目(R3.3.27～28)】 来場者数/8,500人、売上/7,008千円 ②民放3局による自社制作番組での特集の放送(全6回) 視聴率の平均11% 上記により、県内事業者の販売機会の拡大につながったと考えられる。
37	単	テイクアウト・デリバリー等業態変更支援事業費補助金	飲食事業者が新たなサービスとして「テイクアウト」「デリバリー」事業を開始する場合に、1事業者あたり上限300千円として、経費の一部を助成するもの。	2020.8	～	2021.3	18,150,000	18,150,000	市内飲食事業者が新たなサービスとして「テイクアウト・デリバリー」販売を始め、売上げを確保する取組を実施した69事業者に補助金を交付した。 補助実績額：69事業者	本事業によって新たに始めた事業(テイクアウト・デリバリー)における売上げ等は売上51,545千円、販売件数50,974件(事業完了日～6か月後)であり、事業継続に寄与できたと考えられる。
38	単	ECサイト等利用促進支援事業費補助金	中小企業等が新たにECサイトやECモールを活用して商品またはサービスの販路開拓・拡大を目指す取組に対して1事業者あたり上限500千円として助成するもの	2020.8	～	2021.3	17,759,000	17,759,000	新型コロナウイルス感染症対策に配慮した営業手段として、新たにインターネットを活用した販路開拓・拡大を実施するために、ECサイト等を開設した39事業者に対して補助金を交付した。 補助実績額：39事業者	本事業によって開設したECサイト・ECモールにおける売上げ等で把握 売上3,858千円、販売件数523件、アクセス数47,960件(事業完了日～6か月後) 以上により、県内事業者の販路開拓・拡大につながったと考えられる。

No.	補助単独	事業名	事業の概要（目的・内容）	事業実施期間			総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	実績（実施状況）	事業の効果検証・結果
39	単	高知大道芸フェス開催事業費補助金	中心商店街への来街者の回復及び活性化を図るため、高知大道芸フェス実行委員会に対して高知大道芸フェスの開催に係る費用について助成するもの。	2020.9	～	2021.1	947,248	947,000	中心商店街の活性化に向け、普段接することの少ないプロのパフォーマーによる大道芸を披露した。 実施日：令和2年10月3日（土）・4日（日） 会場：4カ所（オーテピア多目的広場、名産センター跡地、中央公園、こうち旅広場） 入場者数：約12,000人／2日間 補助率：補助対象経費に4分の3を乗じて得た額を限度として予算の範囲内	新型コロナウイルス感染症対応として、入退場を管理できる4会場での実施だったが、親子連れ、複数人での来場も多数見受けられた。このため商店街アーケード内での実施はなかったが、GoTo効果もあり、飲食店を中心に盛況だったとの声も多く聞かれた。秋の中心商店街の魅力あるイベントとして多くの来街者が訪れ、期待される結果となり、補助金の目的を達成できた。
40	単	イルミネーションフェスタ事業費補助金	中心商店街への来街者の回復及び活性化を図るため、毎年度実施しているイルミネーションフェスタのリニューアル（装飾デザイン変更・追加）に係る費用についてイルミネーションフェスタ実行委員会に対して助成するもの。	2020.10	～	2021.3	547,273	547,000	実施期間：令和2年11月27日（金）～令和3年1月17日（日） 実施場所：高知市中央公園 事業内容： ○イルミネーション装飾（電球総数約5万5千個） ①シンボルツリー（土台1.8m+本体16m） LED球：約30、000球 ②光の森イルミネーション 公園内樹木10本及び植込みにLED球約15,000球で装飾 ③スノードロップタワー 公園内中央部の照明用ポール3本にLED「スノーフォールライト」を施したオブジェを設置（約10,000球） ○点灯セレモニー（11月27日（金）午後5時30分） 高知学芸高等学校コーラス部の合唱進行の中で点灯 補助率：補助対象経費に2分の1を乗じて得た額を上限とし予算の範囲内	事業実施が新型コロナウイルス感染症の第三波の時期と重なり、来街者の少ない状況でも毎年楽しみにしている方々などを商店街に集客することができ、また、点灯式には多くの方がお越しいただけたことから、中心市街地の活性化に寄与するイベントとなり、補助金の目的を達成できた。
41	単	商店街活動等応援事業費補助金	市内の各商店街への来街者の回復及び活性化を図るため、商店街振興組合、商工団体等に対して、各商店街が独自で行う賑わい創出・商店街振興のための取組等について助成するもの。	2020.9	～	2021.5	33,776,000	33,776,000	補助率：10分の10 補助限度額：1団体につき3,000千円 ※2以上の団体で構成される連合体の場合6,000千円 申請数：13件 交付額：33,776千円	減少した商店街の客数の増加や商店街のにぎわいの創出を目的としたイベント、商店街における新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために必要な設備、環境等を整備した13件に交付することにより、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた本市の商店街のにぎわいの創出及び本市の商店街の振興に寄与するとして補助金の目的を達成できた。
42	単	高知市G o T o 商店街キャンペーン・イベント開催事業費	感染流行の収束後に人の流れと街のにぎわいを創出し、地域を再び活性化させるため、中心商店街等においてイベント・キャンペーンを実施するもの。	2020.9	～	2021.4	57,179,908	57,153,000	○高知市G o T o 商店街キャンペーン・イベント 新型コロナウイルス感染症の流行の一定の収束を見て、本市の近隣商店街及び中心商店街の人の流れと賑わいを創出し、地域経済を活性化するための消費喚起を図るため実施した「高知市G o T o 商店街キャンペーン」の一環として、新たな誘客のため複数のイベントを実施することにより、商店街等の来街者増及び各店舗売上げの向上を図ることを目的に実施した。 ①おまち d e 食べて買ってプレゼントキャンペーン（10/24～11/23） 応募数：4,736件、参加店舗：215店、商品総額：4,500千円 ②おまち d e 食べて飲んでマル得クーポン（11/22～11/30） 販売数：3,000セット（1セット5,000円）発行総額15,000千円 参加店舗：240店 ③おまち d e トレジャウォーク アプリDL数：2,251、応募数：1,663件、商品総額4,500千円  ○お買い物周遊バス 中心商店街エリアで集客した観光客や買い物客を近隣商業地に回遊させることを目的として、中心商店街を周遊するボンネットバスと、イオンモール高知及び卸商センターエリアと中心商店街を結ぶバスを無料で運行した。 実施期間：令和2年9月20日～12月27日の期間中の日曜日（全15回） 乗車数累計：2,367人	本事業を含む「高知市G o T o 商店街キャンペーン」の効果検証のため、令和3年6月24日（木）～令和3年7月9日（金）の期間に高知市内の商店街振興組合員等を対象にアンケート調査を実施した。  ○高知市G o T o 商店街キャンペーン・イベント ①おまち d e 食べて買ってプレゼント 終了後、2つの商店街で買い物をしたレシートで商店街の商品等が抽選により当たる同種のキャンペーンが独自に展開されたことから、当該キャンペーンの実施により、各商店街の来街者数や売上増加に一定の波及効果があった。 ②おまち d e 食べて飲んでマル得クーポン クーポンは即効性があり効果が見込めるのが良いとの声もあり、飲食店への直接誘客につながった。 ③おまち d e トレジャウォーク 商店街等のにぎわいの創出や地域経済の活性化に効果があったと回答したのは全て周辺商店街等であり、普段訪れない層の来街者が周辺商店街を回遊したことが考えられる。  ○お買い物周遊バス 路線バスにはない運行ルートであったこともあり、利用者には好評となり、中心商店街と近隣商業地域との回遊性の向上に寄与した。
43	単	卸売市場運営費繰出金	売上減少等により事業継続が困難となっている卸売市場入居事業者に対して使用料の減額・減免を行い事業継続を支援するため、卸売市場事業特別会計に繰り出すもの。卸売市場入居事業者の使用料減免に係る費用を交付対象経費とする。	2020.8	～	2021.5	15,231,487	15,231,000	令和2年8月から令和3年3月までの使用料減額に要する費用の13,669千円、令和2年10月から令和3年3月までの使用料減免に要する費用の1,562千円、合計15,231千円で事業継続の支援を行い、一般会計から繰り出しを行った。	平成23年度から令和2年度の事業者数は平均3.6者の減であったが、事業実施期間中（令和2年8月～令和3年3月）の事業者数は2者の減となり、事業継続の効果が見られた。
44	単	宿泊事業継続支援給付金給付事業費	大きな打撃を受けている市内宿泊事業者の事業継続に係る支援を行うもの	2020.8	～	2020.12	737,350,000	737,350,000	旅館業法に基づく営業許可を受けており、高知市内で宿泊施設を営む者（ラブホテル及び下宿業を営む者、地方公共団体が設置している施設を除く）に対し、上限額を2,500万円（簡易宿所は500万円）として給付金を給付した。 4～8月分として、客室数に応じた「基礎額」（客室数が4室以下：10万円、5室～99室：30万円、100室以上：50万円）と、宿泊定員数に応じた「加算額」（75,000円×宿泊市内の対象施設93件中85件に給付済）。	給付金の給付後に廃業した事業者（施設）はなく、所期の目的である「事業継続」については達成できた。事業者からの宿泊状況報告書によると、GoToトラベル実施時期（令和2年8月～12月）において、毎月の宿泊者数が前年を上回る施設（最大前年比120%）も報告されており、所期の目的である事業継続支援に加え、施設の衛生環境整備に係る経費負担の軽減等などの受入環境整備にも、給付金の効果が波及したことにより、宿泊客のスムーズな受け入れにもつながったものと考えている。
45	単	高知市観光協会観光リカバリー事業費補助金	落ち込んだ本市観光の復興支援のため、市外からの観光客を誘客するイベント（アートアクアリウム展等）を開催する経費について、高知市観光協会に対して助成するもの。	2020.8	～	2021.3	269,622,096	269,622,000	高知市観光協会主催の「アートアクアリウム展」に係る経費について、補助金を支出した。 ・実施期間：令和2年12月19日～令和3年3月7日 ・来場者数：78,284人 ・主催：高知市観光協会、共催：高知市、主管：RKC高知放送	開催期間が、新型コロナウイルス感染症第3波と重なり、コロナ禍における開催となったが、「高知県における新型コロナウイルス感染症の対応の目安」などガイドラインを順守しながら感染症対策を徹底し開催したところ、来場者数目標80,000人に対し78,284人の入場があり、目標をほぼ達成した。 来場者向けに実施したアンケートによると、県内からの誘客が64%となっており、コロナ禍において県外からの観光客が激減するなか、マイクロツーリズムの推進により、観光需要を創出することができた。 当イベントは、中心市街地で開催したが、来場者アンケートの65%は、中心市街地（商店街等）に行くことと回答しており、周遊促進により、飲食・小売りといった関連事業者への波及にもつながったものと考えている。
46	単	土佐のまつり補助金	市外からの観光客を誘客する食のイベント（土佐のおきやく、土佐の豊穰祭）について、土佐のおきやく推進会議、土佐の豊穰祭実行委員会が安全にイベント実施を行うための感染症対策強化に係る経費について助成するもの。	2020.7	～	2021.3	949,430	949,000	土佐の「おきやく」2021推進会議主催の土佐の「おきやく」2021、土佐の豊穰祭高知市会場実行委員会主催の土佐の豊穰祭（高知市会場）の実施に伴う感染症対策強化に係る経費について、補助金を支出した。 ①土佐の豊穰祭（高知市会場） ・実施期間：令和2年10月24日（土）～26日（月） ・来場者数：15,128人 ・主催：土佐の豊穰祭2020 高知市会場実行委員会 ⇒補助金額：800,000円 ②土佐の「おきやく」2021 ・実施期間：令和3年3月6日（土）～9日（火） ・来場者数：－（オンライン開催のため） ・主催：土佐の「おきやく」2021推進会議 ⇒補助金額：149,430円（リアルイベントにおける感染対策準備経費）	新型コロナウイルスの感染拡大により、イベント主催者は、感染症対策の実施やスポンサー集めに苦慮しており、本市が補助を行うイベントにおける感染症対策について支援を行うことにより、イベントの感染拡大予防を徹底することができ、資金面においてもイベントの継続実施を支援することができた。 「土佐の豊穰祭」は、コロナ禍において2日間で15,128人の来場者があり、観光消費のほか、周辺の中心商店街における消費喚起につながったと考えており、「土佐のおきやく」は感染拡大によりリアルイベントからオンラインイベントに変更となったが、土佐の食文化をはじめとする本市の魅力、全国に発信し、観光PRにつなげることができた。
47	単	駐車場事業特別会計繰出金	中心商店街への集客力を高め、落ち込んだ消費を回復させるため、8～12月の土・日・祝及び12/28～31に、商店街内に位置する中央公園地下駐車場を無料開放するもの。駐車場事業特別会計に繰り出し、中央公園地下駐車場無料開放に係る費用を交付対象経費とする。	2020.7	～	2021.3	39,398,476	39,398,000	中心商店街への集客力の向上を目的に、令和2年8～12月の土・日・祝日及び12/28～31に、中央公園地下駐車場の無料開放を行った。	無料開放実施期間中の1日あたり利用台数について新型コロナ感染症影響前の令和元年度同時期と比較すると、無料開放を実施しなかった平日が対前年比84.7%であるのに対し、無料開放を実施した土・日・祝日及び年末は96.9%と、実施時期が新型コロナウイルス感染症第2波の最中でありながら、前年度並を確保した。無料開放実施日は多くの方々为中心市街に足を運び、まちの賑わい創出に寄与したと考える。
48	単	公共施設指定管理者支援金	感染拡大による公共施設の休業により利用料金収入が減少した指定管理者に対する支援を行うもの。過去の利用料金実績の当初計画に対する達成率を本年度計画に乗じた金額を算定基礎とし、当該金額と実績額との差額について支援金を支給するもの。	2020.4	～	2021.8	81,230,734	81,230,000	各施設の目標値と達成状況、利用状況、収支状況等の実績については、令和2年度指定管理者業務評価シートのとおり。  <a href="https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/4/gyomuhyouka2020.html">https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/4/gyomuhyouka2020.html</a>	指定管理者業務評価指針に基づく評価において、令和2年度指定管理者業務評価シートのとおり、各施設の評価はA評価となった。 1 A評価の評価基準 (1) 評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 (2) 評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上であるが、小項目で3点未満の評価があるもの 2 A評価の評価内容 (1) 事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。

No.	補助 単独	事業名	事業の概要（目的・内容）	事業実施期間		総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	実績（実施状況）	事業の効果検証・結果
49	単	高知市観光協会観光リカバリー事業費補助金（お城下へ泊まろうキャンペーン）	打撃を受けている本市観光への復興支援として、高知県内在住者が本市の宿泊施設へ宿泊する際に1人1泊につき5千円の割引クーポンを発行する高知市観光協会に対して、必要となる費用を助成するもの。	2020.5	～ 2020.8	31,556,744	31,556,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用対象を高知県民として、宿泊料金から1名につき5,000円を割引するクーポンを抽選で発行した。</li> <li>対象施設 ・応募数 59施設 WEB：19,250人（5,921件）、 往復はがき：3,611人（1,458件）</li> <li>当選数 10,000人（3,294件）</li> <li>利用数 6,077人（2,889件）</li> </ul>	県境を越えての不要不急の移動が制限され、観光需要が激減した中において、県民限定キャンペーンの実施により、疲弊した観光事業者の支援を行うことができた。 事業費に対する観光消費額及び経済波及額の効果（B/C）を指標として設定。 ①直接の費用対効果=2.84 ※クーポン利用者の市内・市外別利用人数×各単価（「平成30年県外観光客入込・動態調査報告書」（高知県観光政策課）の単価から算出）÷事業費 ②経済波及への費用対効果=4.66 ※経済波及額（総務省HP掲載「平成27年産業関連表による経済波及効果簡易計算ツール」による試算）÷事業費
50	単	国民宿舎運営事業特別会計繰出金	宿泊需要の落ち込みにより事業継続が困難となっている国民宿舎の指定管理者に対して支援金を支給して事業継続を支援するもの。国民宿舎運営事業特別会計に繰り出し、指定管理者支援金に係る費用を交付対象経費とする。	2020.4	～ 2021.5	64,321,743	64,321,000	令和2年4月1日から令和3年3月31日までの期間において、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費や、従業員の雇用を守るための支援金を、国民宿舎「桂浜荘」の指定管理者に支出した。	支援金の支出により、観光施設の新型コロナウイルス感染拡大予防策を徹底することができ、支援金の支出以降、新型コロナウイルス感染症を理由とした解雇等は行われていないことから、事業継続と雇用の確保につながった。
51	単	ウェブ活用就職支援事業費	求職者が持つ感染への不安をやわらげ、労働需要が高い業種にも就職選択肢を拡大してもらい、雇用のマッチングを図ることを目的に、求人業種・事業所における感染症対策の現状についてのPR動画を作成・ウェブ発信を行うもの。	2020.10	～ 2021.5	9,295,500	9,295,000	ウェブを活用した「高知市JOBチャンネル」を開設し、求人倍率の高い「販売」「介護」「保安」「建設」「製造」の5業種のPR動画や求人情報を高知市ホームページに掲載した。	「高知市JOBチャンネル」へのアクセス数は令和2年度末の2,504件から約6ヶ月後の令和3年9月18日時点で3,833件と、伸びており、就職活動における選択肢を広げるための情報提供の役割は果たせたものと考えられる。
52	単	テレワーク導入支援事業費補助金	市内中小企業等が感染症対策・業務効率を図るためのテレワーク導入を支援するため、導入経費の一部を助成するもの。	2020.11	～ 2021.5	8,452,000	8,452,000	テレワークを導入しようとする市内の中小企業に対し、1事業者あたり要した費用の2分の1で上限50万円の助成を行った。	助成を行った事業者より、事業完了後6カ月間のテレワーク実施状況報告書の提出を受けた。各事業者から、助成により整備した機器を用いてテレワーク、オンライン会議を積極的に取り入れるなど、働き方の見直し・改善ができたとの声があり、人流の抑制や対面の機会を減らすことで新型コロナウイルス感染症の拡大防止に効果があったと考える。
53	単	軌道事業者経営維持支援給付金給付事業費	市民生活に密着した路面電車の運行を維持するため、路面電車運行事業者に支援金を給付するもの。	2021.4	～ 2021.5	100,000,000	100,000,000	経営維持支援給付金の給付 給付対象事業者数：1社 給付金額：100,000千円	路面電車運行を維持するための支援をすることで、一部減便はあったものの、運行の維持及び事業の継続支援につながった。
54	単	土佐山地域振興事務費（補正分）	新型コロナウイルス感染症の影響で販売が低迷しているユズ青果・加工品の需要回復・拡大を図るため、高知県ゆず振興対策協議会が行う販促活動への県への支援に対して負担金を支出するもの。	2021.1	～ 2021.1	466,000	466,000	高知県ゆず振興対策協議会が実施する「ユズ需要拡大緊急対策事業」に要する費用の一部を負担した。	高知県ゆず振興対策協議会において、柚子の需要減少対策として実施する促進活動の「ユズ需要拡大緊急対策事業」に要する費用の一部を負担することにより、ゆず農家全体への収入減少の緩和に寄与したと考えられる。
55	単	新型コロナウイルス感染症対策中小事業者等支援金給付事業費	新型コロナウイルスの影響によって減収し、一定の要件を満たす中小事業者等の事業継続と雇用維持を支援するため、支援金を給付するもの。	2021.1	～ 2021.3	110,694,465	110,694,000	給付要件を満たす94事業者に対して、合計110,538千円の支援金を給付した。	事業所税申告書等で給付事業者のその後の事業継続を調査したところ、94事業者のうち3者が事業廃止したが、いずれも県外企業の撤退によるものであり、地元企業を含む91者は事業を継続していた。
56	単	営業時間短縮要請協力金支給事業費	高知県実施の営業時間短縮要請に応じた県内中小企業または個人事業主の事業継続支援に対する本市独自上乗せ支援を行うための業務委託を行うもの。	2021.1	～ 2021.4	314,873,291	314,873,000	<p>新型コロナウイルスによる感染が拡大していることを受け、高知県が令和2年12月14日に施設の営業時間の短縮を要請、これに応じた営業時間短縮の対象となる施設を運営する事業者で、業種ごとの感染拡大予防ガイドラインを遵守し、営業時間短縮にご協力する中小企業、個人事業者等を対象に高知県営業時間短縮要請協力金を支給した。</p> <p>これを受け、本市においても、高知市内で店舗を運営し、上記の営業時間短縮又は休業にご協力する事業者を対象に協力金を支給した。</p> <p>支給額：1店舗当たり最大15万円 営業時間短縮の要請期間（令和2年12月16日～同年12月30日）に 協力した日数に1万円を乗じて得た額 支給件数：1,918件</p>	営業時間短縮により年末の書き入れどきの営業機会を損失する事業者への事業継続支援として効果があった。
57	単	観光客誘致推進事業費補助金	新型コロナウイルスの影響で減少した宿泊施設の利用客を増加させることを目的に、教育旅行の誘致を行う高知市観光協会に対して補助を行うもの。	2020.8	～ 2021.3	265,840	265,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施期間：令和2年8月14日～令和3年2月28日宿泊分</li> <li>交付実績 34件（新規31校、継続3校）</li> <li>予算に達したため交付終了</li> <li>全申請数 53件（うち新型コロナウイルスの影響による申請廃止2件）</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、教育旅行の行先が都市部から地方都市に切り替えられる傾向が顕著なことから、教育旅行の誘致を行い、団体旅行の需要を確保することにより、宿泊業の中でも、さらに厳しい立場にある団体旅行客をターゲットとした事業者への支援が実施できた。</p> <p>・直接経済効果 交付対象者の高知市内宿泊人数：生徒・引率者計2,813名（全申請 4,290名） 同対象者の市内宿泊費：計33,140,510円（全申請48,445,960円） 宿泊平均単価：11,264円（全申請 10,996円）</p> <p>アンケートからも助成金が旅行会社の誘客モチベーションアップや旅行内容の充実につながるとの意見があり、継続して来高いただくためにも必要な事業だと考える。</p>
58	補	障害者総合支援事業費補助金	（障害福祉サービス等事業者に対するサービス継続支援事業） 休業要請を受けたり、感染者・濃厚接触者が発生した事業者が障害福祉サービスを継続するため、別場所での提供や訪問等によりサービスを行う際のかかり増し経費を助成するもの。	2020.11	～ 2021.4	1,484,000	494,000	<p>①新型コロナウイルス感染者が発生した障害者支援施設に対し、障害福祉サービスを継続するために必要なかかり増し経費を補助金にて交付 対象施設数：1施設（R2.8.17～R2.8.31分）</p> <p>②介護予防ケアマネジメントの実施にあたって利用者宅訪問を自粛し、電話によるサービス再開支援を行った。</p>	<p>①障害者支援施設において新型コロナウイルス感染者が発生しても障害福祉サービスが継続できるよう、かかり増し経費を補助することにより事業者の負担が軽減された。</p> <p>②利用者と職員の直接接触を回避することにより、感染症拡大防止を行いつつ、電話によるサービス再開支援により利用者の孤立、フレイルを防止した。</p>
59	単	土佐山夢産地パークテレワーク環境整備事業費	感染症対策及び中山間地域である土佐山地域への交流人口拡大を図るため、夢産地パーク交流館の利用者がテレワークを行うことができるよう物品等を購入するもの。	2021.11	～ 2022.3	2,475,376	975,000	土佐山夢産地パーク交流館にwi-fi環境を整備し、机、椅子、パーテーション等を購入して設置した。	土佐山夢産地パーク交流館の利用者がwi-fiを使用することにより、屋外等でテレワークが実施可能となり接触低減が図られ、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが低減された。また、新たに机・椅子・パーテーションを設置しテレワーク環境を整備したことにより、新しい人の流れを呼び込むことに寄与したと考えられる。
60	単	卸売市場運営費繰出金	市場内の感染症対策として、健康管理のためのサーマルカメラを導入するための経費について、卸売市場事業特別会計への繰出しを行うもの。	2021.4	～ 2022.3	1,040,600	1,040,000	サーマルカメラを11台購入し、感染者が発生した場合、市場開場が困難となるリスクが高い卸売業者の事務所に配備するとともに、管理棟内の事務所、会議室、年末売出イベント時の休憩室に配備した。	市場関係者及び来場者の感染拡大防止の強化につながった。
61	単	桂浜公園駐車場運営継続支援金支給事業費	感染拡大による観光需要の減少により大幅な減収となった桂浜公園駐車場指定管理者に対して支援金を支給するもの。	2020.4	～ 2021.5	7,755,268	7,755,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>桂浜公園駐車場 ⇒支援金額 7,755,268円</li> </ul> <p>令和2年4月1日から令和3年3月31日までの期間において、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費や、従業員の雇用を守るための支援金を、指定管理者に支出した。</p>	支援金の支出により、観光施設の新型コロナウイルス感染拡大予防策を徹底することができ、支援金の支出以降、新型コロナウイルス感染症を理由とした解雇等は行われていないことから、事業継続と雇用の確保が行われた。
62	単	中小企業等生産性向上設備導入支援事業費補助金	新型コロナウイルスの影響で業績悪化している中小企業等が生産性を向上させる先端設備等を取得する費用の一部を助成するもの。	2021.3	～ 2022.3	79,916,000	79,916,000	本補助金の交付件数28件、交付総額79,916千円	本補助金の交付を受けた中小企業者により新たに総額234,189千円の設備投資が行われたため、企業のIT化の推進につながり、新型コロナウイルスの影響を受ける中小企業者等の支援につながったものと考えられる。
63	単	理美容店利用促進事業費補助金	市民生活における生活必需サービスの一つである理容業・美容業を行っている理美容事業者の事業継続を支援するため、プレミアム付クーポン販売・営業自粛店舗への支援金・感染症対策用品の配付等を実施する事業者団体への助成を行うもの。	2021.2	～ 2022.3	67,583,200	67,583,000	<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら市民生活における生活必需サービスである理容業及び美容業を行っている本市内の理容事業者及び美容事業者の事業継続を支援した。</p> <p>補助率：補助対象経費の額を限度として予算の範囲内 補助額：高知県美容生活衛生同業組合高知支部 34,000千円 高知県理容生活衛生同業組合高知支部 34,000千円</p>	事業の効果検証・結果は令和3年度終了後に行う。
64	単	休日夜間急患センター運営事業費	病院が診察を行っていない年末年始等において、急患センターで新型コロナウイルス検査で陽性となった患者に対応するため、高知県薬剤師会が薬剤師1名を増員することに係る経費について助成するもの。	2020.4	～ 2021.1	273,000	273,000	12/31,1/1～3,1/10,1/11にコロナ陽性患者に対応する薬剤師各日1名分の人件費273,000円を補助金交付した。	6日間の新型コロナウイルス抗原検査95件中陽性は2件。専任の薬剤師を確保し対応場所も分けたことで通常の薬局業務と別々に安全に安心して対応できた。

(4) 子どもの活動及び家庭学習の支援

No.	補助 単独	事業名	事業の概要(目的・内容)	事業実施期間		総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	実績(実施状況)	事業の効果検証・結果	
65	単	公立学校休業期間短縮に伴うかかり増し人件費	学習時間確保のための夏季休業期間短縮を行うことに伴い、必要となる人件費のかかり増し経費を負担するもの。	2020.7	～	2021.3	14,634,057	14,631,000	①夏期休業期間の短縮に伴う用務員及び調理員の人件費を負担した。 ②市立小・中・義務教育学校及び高等学校の8月授業日(小学校・高校配置8/24～8/31、中学校配置8/20～8/31)、下記の通り会計年度任用職員の配置を行った。 ・中学校学力向上支援員 15名 ・教員補助員 21名 ・教員業務支援員 14名 ・学校図書館支援員 53名 ・特別支援教育支援員 9名 ③商業高校において、夏季休業期間の短縮により7月18日から31日及び8月17日から31日の教職員の人件費を負担した。	①感染症拡大により休校が長引き、夏季休業期間が短縮となったが、通常どおり、施設の管理や給食の提供を行うことにより、生徒が安心して授業に臨むことができ、保護者の安心にもつながった。 ②人的整備を行うことで、夏季休業期間を短縮し授業日を設定することが可能となり、1学期に臨時休業を実施したことにより不足する児童生徒の授業時間を確保し、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」が行えたと考えられる。 ③商業高校における臨時休校により不足した授業日数を補うことができ、生徒の学びを保障することができた。
66	単	学校教育情報化システム管理費	学校休業等の事態の際に児童生徒の学びを保障するため、ネットワークに接続できなくても家庭で教材ソフトウェアが使用できるようにするため、教材データ・ソフトを収納・保存するMicroSDカードを配備するもの。	2020.9	～	2020.12	7,660,906	7,660,000	教材データ・ソフトを収納・保存するためにMicroSDカードを22,466枚購入した。	家庭での学習が必要となった場合、家庭にWi-Fi環境がなくても、MicroSDカードに保存した教材データで学習することができるようになり、子どもたちの学びの保障につながった。
67	単	GIGAスクール構想推進事業費	GIGAスクール構想の実現に向けて、本年度中に小中の全ての児童生徒に1人1台端末を、また授業用として必要となる教員分の端末も併せて整備するもの。	2020.7	～	2021.8	356,072,750	356,072,000	小学1年～3年生までの児童生徒用として7,136台、教員用として1,059台のタブレット端末を整備した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業の際に、タブレット端末を家庭へ持ち帰ってオンライン学習を行うなど、子どもたちの学びの保障につながった。
68	単	学校家庭連絡システム整備事業費	学校臨時休業の際の対応や家庭支援等のため、市立学校(放課後児童クラブ含む)及び市立保育所等と家庭を結ぶ連絡システムを導入するもの。	2020.10	～	2021.5	16,482,400	16,482,000	学校臨時休業の際の対応や家庭支援等のため、市立小・中・義務教育・特別支援学校(放課後児童クラブ含む)及び市立保育所等と家庭を結ぶ連絡システムを導入した。	臨時休業や緊急時に保護者へ連絡する必要があるときに、システムから一斉にメッセージを送信でき、保護者もタイムラグがなく連絡を確認できるなどの効果があった。 また、システム導入前は、教員が受け持ちの各家庭へ電話連絡するなどの対応をしていたが、システムを導入することにより、一斉にメッセージで連絡内容を伝えることが可能となった。 さらに、電話に比べて1名～2名程度の教員でメッセージ送信が可能となるなど、教員が新型コロナウイルス感染症に罹患した際も対応が可能となるなどの効果があった。
69	単	学校給食センター運営事業費	市立学校の夏季休業期間短縮に伴い、子どもたちが安心して授業を受けられるよう、給食実施日数を増加させることにより発生する給食調理等業務委託料のかかり増し分を支払うもの。	2020.5	～	2020.8	2,559,330	2,559,000	夏季休業期間短縮で授業日となった10日間(令和2年7・8月実施)の給食を実施した。	感染症拡大により休校が長引き、夏季休業が短縮するというイレギュラーな学校生活の中、給食の実施により生徒が安心して授業に臨むことができ、保護者の安心にもつながった。
70	単	市立学校修学旅行キャンセル料	新型コロナウイルス感染症の影響により市立学校が予定する修学旅行が中止となった場合に発生する旅行代理店へのキャンセル料金を負担することで保護者負担の軽減を行うもの。	2020.8	～	2021.1	2,804,222	2,804,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた修学旅行を中止したことでキャンセル料金の支払いが発生した高知市立学校7校分のキャンセル料金を負担し、旅行代理店へ支払いを行った。	キャンセル料金を負担することにより、修学旅行を実施できなかった児童・生徒の保護者への負担軽減となった。
71	単	学校教育情報化システム管理費	感染症対策としての公立学校におけるICT化の推進のために開催する、ICT活用推進協議会への学識経験者招聘及び、ICT化推進に向けたICT化に応じた教材開発を行うもの。	2020.12	～	2021.4	389,980	389,000	令和2年12月、令和3年2月(3日と9日)に高知市立学校ICT活用推進協議会を開催した。 また、プログラミング教材(microbit:20個や教育用ドローン:9台)を購入した。	高知市立学校ICT活用推進協議会では、学識経験者やIT業界からの情報提供を得ながら、同協議会のウェブサイトにて学校や教員に対してGIGAタブレットの活用事例などの情報発信を行った。 また、各学校において学習指導要領の改訂により開始したプログラミング教育を行うため、購入したプログラミング教材を学校に貸出すなど、各校のプログラミング教育の取組みを支援した。
72	補	子ども・子育て支援交付金	(子ども・子育て支援交付金) 放課後児童健全育成事業・子育て援助活動支援事業等における衛生用品等を確保するもの。	2020.4	～	2021.5	34,661,117	6,590,000	緊急事態宣言が発出されたことに伴い、令和2年4月17日から5月24日までの市立小学校休業期間中の放課後児童クラブについて自粛要請を行い、自粛に協力した児童に対して日割り計算による減免を実施した。	日割り計算による減免を実施することで、3,199名の児童に対して約1,900万円の還付を行い、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担の軽減に寄与したと考えられる。
73	補	学校保健特別対策事業費補助金(特別支援学校スクールバス感染症対策支援事業に限る)	(特別支援学校スクールバス感染症対策支援事業) 特別支援学校における感染症対策のためのスクールバスの増便を行うもの。	2020.9	～	2021.4	3,819,794	1,909,000	令和2年9月1日～令和3年3月24日の期間に高知特別支援学校のスクールバスの北回り便について1台増便した。	乗車割合の高かったスクールバスを増便させることで感染拡大防止の強化につながった。
74	補	学校保健特別対策事業費補助金(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業に限る)	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) 公立学校における感染症対策(保健衛生用品購入、給食調理員の熱中症対策等)、学習保障(家庭学習用教材、3密対策の備品購入等)を行うもの。	2020.4	～	2021.4	84,147,467	42,073,000	高知市立学校59校に学校再開に伴う感染症対策・学習保障等の支援のために学校規模に応じた予算を配当した。(令和2年4月1日～令和3年3月31日)	各学校の状況に応じた衛生用品及び学習保障のための教材の整備を行うことができ、感染症対策及び児童生徒の学びの保障をする体制の整備につながった。
75	補	教育支援体制整備事業費補助金	(補習等のための指導員等派遣事業) 新型コロナウイルスの影響を踏まえた公立学校における「学びの保障」のための人的整備として放課後等学習支援員を配置するもの。	2020.7	～	2021.3	45,146,660	18,060,000	学習保障に必要な人的体制の強化を目的として、現行の放課後等学習支援事業を補充する形で、同事業の学習支援員を増員(40名→67名)した。	増加人員を、学校における補習学習や授業補助による支援に活用することで、コロナ禍においても児童生徒の学習定着度に応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができたと考える。
76	補	教育支援体制整備事業費補助金	新型コロナウイルスの影響を踏まえた学校教育活動等の実施における「学びの保障」のため、学校運営に必要な人的体制の強化を目的とし、会計年度任用職員(教員業務支援員)の増員を行い、必要となる人件費のかかり増し費用を負担するもの。	2020.8	～	2021.3	5,182,971	2,073,000	学校運営に必要な人的体制の強化を目的として、教員業務支援員配置事業を補充する形で、同事業の支援員を増員(26名→39名)した。	学校における学習指導以外の教員補助として配置し、教員が児童生徒に向き合う時間を創出することで、コロナ禍においても児童生徒に対するきめ細やかな指導の充実を図ることができた。
77	補	公立学校情報機器整備費補助金	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) 感染症拡大に伴う公立学校の臨時休業等の緊急事態時の児童生徒の学びを保障するため、家庭でも学習できる環境を整備するもの。	2020.11	～	2021.3	2,100,000	1,050,000	高知市立学校60校に、マイクスピーカー及びWebカメラを各校1台購入した。	マイクスピーカー、Webカメラを整備することにより、新型コロナウイルス感染症による臨時休業の際に、学校からオンライン授業を行うことができ、子どもの学びの保障につながった。
78	補	障害者総合支援事業費補助金	(特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスへの支援等事業) 学校臨時休業により追加的に生じる利用者負担を免除するとともに、事業所が電話等の方法により児童の健康管理等を行った際に生じる利用者負担を免除するもの。	2020.4	～	2020.12	171,393	43,000	学校臨時休業により追加的に生じる利用者負担金を事業所に対し補助金として交付対象事業所数:44事業所 延人数:179人 交付額:171,393円	新型コロナウイルス感染症の影響で突発的に発生した利用者負担を補助することで利用者の負担軽減となった。(通常以上の負担とならなくなった。)
79	単	GIGAスクール構想推進事業費	GIGAスクール構想の実現に向けて、特別支援学校高等部生徒・教員用のタブレット端末整備を行うとともに、教育委員会事務局においても学校現場と同じ端末が使用できるようネットワーク環境を整備するもの。	2021.3	～	2021.11	6,872,086	6,872,000	特別支援学校(高等部)の生徒用として55台、(高等部)教員用として11台のタブレット端末を整備した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業の際に、タブレット端末を家庭へ持ち帰ってオンライン学習を行うなど、子どもたちの学びの保障につながった。
80	単	GIGAスクール構想推進事業費(商業高校)	GIGAスクール構想の実現に向けて、商業高校生徒全員分のタブレット端末整備を行うもの。	2021.4	～	2021.10	43,700,400	43,700,000	生徒用タブレット870台の整備を行った。	オンライン授業への対応や学習の効率化、高度化を図ることができたことで、子どもたちの学びの保障につながった。
81	補	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) 学校の感染症対策等を徹底しながら学校教育活動を円滑に継続するために、衛生用品・備品購入、教室の消毒等を実施するもの。	2021.4	～	2022.3	72,064,742	36,032,000	高知市立学校59校に感染症対策等の学校教育活動継続支援のために学校規模に応じた予算を配当した。(令和3年4月1日～令和4年3月31日)	円滑に教育活動が継続するために学校における感染症対策、教職員の研修支援、児童生徒の学びの保障をする体制の整備を支援することができた。

(5) 市役所の感染対策・業務継続対策

No.	補助 単独	事業名	事業の概要（目的・内容）	事業実施期間			総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	実績（実施状況）	事業の効果検証・結果
				2020.4	～	2021.3				
82	単	新型コロナウイルス感染症対応体制強化事業費	新型コロナウイルス感染症への対応に係る、職員の時間外手当及び特殊勤務手当の支給経費及び、新型コロナウイルス感染症への対応に係り増大する事務量に対応する体制とするために必要となる会計年度任用職員に係る経費を支払い、感染症対応の体制を構築するもの。	2020.4	～	2021.3	12,576,813	12,554,000	新型コロナウイルス感染症への対応に係る職員の時間外手当及び特殊勤務手当の経費及び、会計年度任用職員に係る経費を支払った。	会計年度任用職員を雇用するとともに、職員の時間外手当及び特殊勤務手当を支給することができ、感染症対応に必要な人員体制の確保ができた。
83	単	職員テレワーク環境整備事業費	感染拡大を未然防止するため庁内のテレワーク環境を整備するもの。	2020.8	～	2022.3	41,059,414	41,059,000	テレワークの本格運用開始に向け、テレワーク用パソコンを200台購入した。	本事業を実施することで、各所属の状況に応じた分散勤務等が可能となり、感染拡大を予防する環境が整備された。
84	単	一般廃棄物処理業務継続用衛生用品等確保事業費	一般廃棄物処理業務に係る感染予防を図るため、衛生用品等を確保するもの。	2020.5	～	2021.1	2,859,318	2,858,000	マスク180,900枚、消毒液202L、化学防護服400着、保護メガネ100個等を購入した。	一般廃棄物処理業務の継続に必要な衛生用品を購入し、コロナ禍においても、安定したごみ処理業務を実施した。
85	単	賦課事務費（市民税賦課徴収）	市民税等の申告会場における感染防止対策のために、衛生用品等を購入するもの。	2020.11	～	2021.4	368,013	368,000	不織布マスク、消毒用品、パーテーション、フェイスシールド等を購入し、申告会場に設置した。	申告会場に感染症対策用の消耗品・備品等を配備することにより、申告会場の感染症拡大防止の強化につながった。
86	単	オーテピア高知図書館感染拡大防止対策事業費負担金	図書館における非来館型サービスの充実を図るため、インターネットサービス利用時の初期パスワードをSMS（ショートメッセージ）で取得できるよう県が実施する図書館情報システム改修経費の一部を負担するもの。	2020.9	～	2021.5	2,201,650	2,201,000	システム構築はR3.3月末までに終了し、職員への周知、研修を経て、R3.5.7よりSMSによる初期パスワード発行を開始した。	R2.7月時点で携帯電話登録者のパスワード利用率が31.5% R3.10月時点では同利用率が34.5%と、利用率が3%アップしており、感染拡大防止に効果があったと考える。
87	単	常備消防活動衛生用品等確保事業費	救急隊員用の感染症対策として、感染防止資器材（マスク・感染防止衣等）を購入するもの。	2021.4	～	2022.3	34,299,588	34,299,000	感染防止衣（上衣・下衣）、ディスゴ手袋、サージカルマスク等、計12項目の感染防止資器材を全署所（4署4出張所）に購入配備した。	今後、さらなる世界的な感染爆発に陥り流通が途絶えた場合においても、一定期間（約3カ月間）救急・消防活動を維持するだけの備蓄を行うことにより、感染拡大防止の強化につながった。
88	単	情報セキュリティ強化対策事業費	感染症対策のための市役所内の急速なデジタル化の進展に伴い、情報漏えい等のリスク防止のための庁内ネットワークにおける情報セキュリティ対策を強化するもの。	2021.6	～	2022.3	83,101,040	83,101,000	デジタル化の推進に伴う情報セキュリティ強化策として、庁内ネットワークへのパソコン等の接続機器認証システム及びパソコンにおける多要素認証システムを導入した。	本事業を実施することで、庁内あるいはテレワーク時における庁内ネットワークへのパソコンの接続や利用者認証が厳格化され、不正アクセスや情報漏洩等のリスクが大幅に軽減された。
89	単	文化施設換気整備事業費	感染症対策のために換気を行う必要があるため、文化施設に網戸を設置するもの。	2020.7	～	2020.10	606,460	605,000	筆山文化会館、三里文化会館、横浜文化センターの3施設に網戸を設置した。	網戸を新設したことで、窓を開けて換気する時間を多くとることが可能となり、様々な活動をする文化施設において、感染症拡大防止の強化につながった。
90	単	オーテピア高知図書館感染拡大防止対策事業費	図書館における感染症対策として、衛生用品やパーテーション等を購入するもの。	2020.4	～	2021.4	3,099,503	1,549,000	衛生用品やアクリルパーテーションを購入した。	1日平均約3,000人が来館するオーテピアにおいて、出入口にアルコール消毒液や開架閲覧席等にアクリルパーテーションを設置したことで、新型コロナウイルス感染症の感染機会を縮減し、安心できる公共空間を提供することができた。
91	単	個人番号カード交付事業費	個人番号カード申請受付時におけるコロナ対策として窓口増設を行うことに伴い、パーテーションや発券・番号呼び出し機器を購入するもの。	2021.2	～	2021.5	628,382	628,000	①アクリルパーテーション10枚設置 ②番号案内表示システム対応タブレット端末3台設置	①混雑するマイナンバー交付の受付窓口を設置することによって、飛沫の防止と、消毒作業のしやすい環境を作り、感染を防止することができた。 ②マイナンバー交付担当の受付窓口を3窓口増設することができ、来庁者の待ち時間減少による感染機会の縮減につながった。
92	単	庁舎管理費	市役所庁舎における市民及び職員の新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、マスクや消毒液等を購入するもの。	2020.4	～	2021.4	4,221,833	4,221,000	来庁市民及び職員への新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、市庁舎において、本事業により主に下記の対策を実施した。 ①各出入口やエレベーターホールにアルコール消毒液を設置し、手指消毒の励行を呼びかけ【アルコール購入実績901L】 ②マスクを職員へ配布のうえ勤務中の着用を呼びかけ【マスク購入実績37,250枚】 ③来庁者対応の多い窓口（カウンター）に飛沫感染防止用の透明セロファンを設置【透明セロファン購入実績2,500m、透明セロファン固定用スタンド購入実績337本】 ④各トイレにおいてエアジェットタオルを使用停止し、ペーパータオルを設置【ペーパータオル購入実績7,420袋（200枚入）】	一部職員が新型コロナウイルス感染症に感染したものの、県下での感染拡大期においても庁舎（職場）内でのクラスター等は発生せず、市役所機能を維持することができた。 また各種対策を実施することで、来庁市民及び職員の感染に対する心理的不安の低減につながった。
93	単	青年センター管理費	本市が開催する成人式での感染症対策を行うもの。	2020.10	～	2021.2	795,340	795,000	・令和3年（令和2年度）高知市成人式：令和3年1月10日実施（令和2年（令和元年度）高知市成人式までは1部制（午前中に1回開催）で実施） ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、以下のような対策をしながら成人式を実施した。 ①会場内への入場者数を半数とすることとし、式典を2部制で実施した。 ②会場敷地内にバリケードを設置することで、新成人以外の者が会場内に進入できないようにするとともに、入場通路を整備した。 ③会場入口で、係員による検温、手指消毒、検温済証となるバンドの交付等を実施した。 ④会場内を3分割し、係員の誘導による順次退場を実施した。	①式典会場内の三密回避対策となる座席間の空間確保が可能となった。 ②会場内への入場者数を必要最少人数にすることが可能となり、また入場時の混雑を解消することが可能となった。 ③会場内の感染症対策及び安全確保を図ることができた。 ④各種対策を実施し、体温37.5度以上の者の入場制限をすることで、会場内の感染症対策及び安全確保を図ることができた。 ⑤新成人の円滑な退場が可能となり、新成人及び式典従事スタッフの感染症対策及び安全確保を図ることができた。
94	単	事務費（公共建築課）	感染症対策としての市役所のデジタル化の一環として、オンライン会議用機器を購入するもの。	2021.1	～	2021.3	125,400	125,000	プロジェクター及びスピーカフォンを各1台購入した。	当該機器の購入によりオンライン会議の開催やWeb研修への参加が可能となり、コロナ禍における人流抑制時において、感染症拡大を防止しながら、円滑に業務を遂行することができた。
95	単	一般事務費（議会事務局）	市議会での感染拡大防止に係る物品（パーテーション等）を購入するもの。	2020.11	～	2020.12	94,490	94,000	非接触温度計やパーテーション等を購入し、議場に配備した。	議場における感染症拡大防止の強化により、適切な議会運営につなげることができた。
96	単	施設管理費（人権同和・男女共同参画課）	コロナ対策のための施設消毒を行うもの。	2020.12	～	2021.2	470,910	470,000	新型コロナウイルス感染症予防にかかる消毒作業を一宮市民会館と一宮老人福祉センターで実施した。	手洗いや手指消毒、マスク着用と併せて感染予防を徹底したため新たな感染は発生しなかった。
97	補	学校保健特別対策事業費補助金（感染症対策のためのマスク等購入支援事業に限る）	（感染症対策のためのマスク等購入支援事業） 公立学校における感染症対策のためのマスク等を購入するもの。	2020.4	～	2021.3	7,510,001	3,755,000	令和2年4月から令和3年3月まで、使い捨てマスク、抗ウイルス抗菌剤、アルコール製剤・清拭材、非接触体温計、手指消毒液、飛沫防止用ゴーグル等を高知市立学校60校に配付した。	高知市立学校に配付したことにより、学校内の消毒や公衆衛生に効果的に活用でき、感染拡大防止措置を取ることができた。
98	単	衆議院議員選挙準備事業費	選挙事務における感染症対策として、開票作業中の密を避けるために投票用紙読取分類機を購入するもの。	2021.3	～	2021.6	9,900,000	4,400,000	投票用紙読取分類機を2台購入し、開票作業に活用した。	令和3年10月執行衆議院議員総選挙時に活用し、開票作業で最も密を生む投票用紙開披分類作業に係る人員を削減することで、作業時の感染防止に役立った。



(6) その他

No.	補助 単独	事業名	事業の概要（目的・内容）	事業実施期間			総事業費 (円)	交付金充当額 (円)	実績（実施状況）	事業の効果検証・結果
99	単	給食事業費	A：(公財)高知県学校給食会に対して、事業者に対して既に発注された学校給食用食材(牛乳)の発注取消に係る違約金を支払うもの。 B：(公財)高知県学校給食会に対して、小中学校臨時休業に伴い直前にキャンセルとなった分の費用負担に係る負担金を支払うもの。 C：夏季休業期間での授業日設定に伴い、期間中に給食を実施するため、調理室の高温対策として消耗品を購入するもの。	2020.4	～	2020.10	8,844,971	8,844,000	学校臨時休業にあたり、すでに発注済みの学校給食用牛乳約30万本に対する違約金（令和3年4月13日から5月24日の給食停止分）及び直前停止となった358食分の給食費を負担した。（令和2年4月13日～令和3年3月24日分）冷房機器未設置の学校給食調理場39施設に対し、スポットクーラー各1台を設置した。	学校給食の臨時休業における食材費に対し、事業者負担の軽減を図ることができた。 新型コロナウイルスの影響により、夏季休業中に授業日を設けることとなったが、調理場の高温対策により、学校給食を適切に実施することができた。
100	単	高度情報通信環境整備促進事業費補助金 (地方単独分)	遠隔教育や遠隔医療、テレワーク、オンライン申請等のICT利用を支える情報通信基盤整備を促進するとともに、光ファイバ未整備地区への整備を行う事業者に対し、国の補助対象外となる整備費・維持管理費（サービス提供コスト）を一括支援するもの。	2021.2	～	2022.3	172,000,000	163,552,000	光ファイバ未整備地域であった本市の中山間地域において、民設民営方式により光ファイバが整備され、光ブロードバンドサービスの提供が開始された。	本事業を実施することで、光ファイバ未整備地域の解消が進むとともに、当該地域の住民にとって、遠隔教育や遠隔医療、テレワーク等の「新たな日常」に必要な情報通信インフラが整備された。
101	単	桂浜公園観光施設等整備事業費	観光需要の早期回復を図ることを目的に、新しい生活様式や社会構造の変化に対応するための屋外観光施設の整備を行うもの。	2021.2	～	2022.3	357,766,268	163,756,000	観光需要の回復を図るため、新しい生活様式に対応した整備、国内外の観光客への観光案内機能の強化、ユニバーサルデザインの施設整備等を下記のとおり実施した。 ① 観光案内所整備 ② バス待合所整備 ③ 休憩所整備 ④ 公衆トイレ整備（①～④ 総額255,429,768円） ⑤ サイン整備（28,203,100円） ⑥ 園路整備（66,433,400円） ⑦ 公衆無線LAN環境整備（7,700,000円） ⑧ その他消耗品購入費等（903,045円）	観光施設における非接触化や非対面化、換気機能の向上といった「新しい生活様式」に対応した施設整備を行うことにより、観光客の感染リスクの低減を図ることができた。  令和4年度に指定管理者によるアンケート調査（公園内各エリアの満足度調査）を実施し、整備事業の効果を検証する予定である。
102	単	龍馬の生まれたまち記念館整備事業費	観光需要の早期回復を図ることを目的に、新しい生活様式や社会構造の変化に対応するための施設整備を行うもの。	2021.4	～	2021.9	2,091,000	829,000	高知市立龍馬の生まれたまち記念館1階に2か所、2階に3か所、APを新設し、記念館全域で公衆無線Wi-Fiを利用できるよう整備した。 アプリ「Japan Connected-free Wi-Fi」を使用可能にし、インバウンドに対応した形（ポータルサイトの多言語対応等）に整備を行った。  <展示館入館者数> ・令和2年（1月～12月）：20,132人 ・令和3年（1月～12月）：15,214人 <貸館利用者数> ・令和2年（1月～12月）：8,525人 ・令和3年（1月～7月）：7,673人	新型コロナウイルス感染症の影響により、従前の集会型の会議から、オンラインによる会議形式への行動変容が発生しているが、当記念館には、オンライン会議に対応したWi-Fi設備がなく、利用者から整備を求められていたが、今回の整備により、新しい生活様式に対応した施設として運営することが可能となった。 また、アフターコロナにおけるインバウンド観光の回復も見据え、旅行者等が公衆無線LANを利用できるようになったことで、当該施設への訪問や滞在時間の延長につながるようになることができた。 ただし、新型コロナウイルス感染による影響により、Web会議を含め、入館者数（利用者数）自体が激減している。感染拡大の影響がない令和元年ベースまで利用者を取り戻すのは時間がかかるものと予想され、事業効果が数字として表れるのは、感染収束後になるものと予想される。
103	単	市立保育所ICT機器導入事業費	市立保育所における感染症対策として業務のICT化を進めるため、各保育室に業務端末を配置するとともにWi-Fiを整備するもの。	2021.4	～	2022.3	57,633,851	57,633,000	市立保育所・幼稚園に、モバイルパソコン206台を購入した。また、園児の安全対策のため、保育室等に無線LANによるネットワークを整備した。	園職員数に対し事務用パソコンの台数が少なく、職員室のパソコン1台当たり概ね10人程度で使用する必要があったが、各保育室にパソコンが設置されたことで、密の回避につながり園内の感染拡大防止を図ることができた。
104	単	土佐山地域振興事務費（予備費分）	感染症対策のための中山間地域のICT化のために実施する、ブロードバンド協議会を開催するもの。	2020.11	～	2021.1	58,210	58,000	ブロードバンド協議会を2回実施し、2人分の費用弁償（旅費）を行った。	ブロードバンド協議会にICTの専門的な知識及び技能をもつ識者を任命することができ、ICT化の推進につながった。
105	単	鏡地域振興事務費	感染症対策のための中山間地域のICT化のために実施する、ブロードバンド協議会を開催するもの。	2020.11	～	2021.4	288,000	288,000	令和2年度にブロードバンド利活用協議会を5回開催し、中山間地域のニーズやシーズに対応したICT利活用策について検討を行った。 アンケートの実施等、地域の課題やニーズの把握を行い、「健康福祉・子育て」「農業」「防災」「移住・定住」の4つの分野におけるICT利活用策について、「中間とりまとめ」を行った。	利活用協議会での意見を踏まえ、令和4年度に高齢化が進む鏡梅ノ木地域において、IoTを活用した健康管理システムを設置し、住民の健康管理を行うスマートヘルスケア事業を実施するなど、新しい生活様式に対応した取組の展開につながった。
106	単	賦課事務費（資産税課）	コロナ対策として行う令和3年度税制改正（評価替えに伴う増額分据え置き措置）に伴い、システム改修を実施するもの。	2021.1	～	2021.4	2,955,700	2,955,000	令和3年度税制改正（評価替えに伴う増額分据え置き措置）に対応するためのシステム改修を令和2年度中に実施した。	システム改修により、令和3年度税制改正（評価替えに伴う増額分据え置き措置）に対応した内容で適切な課税処理を実施することができた。
107	補	介護保険事業費補助金（新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業に限る）	（新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業） 介護サービス事業所等のサービス継続のためのICT機器の購入経費等に対して助成するもの。	2021.1	～	2021.4	4,067,000	1,355,000	感染者が発生した介護事業所等が、サービス継続のために要した経費に対して、13件4,067千円の助成を行った。	感染者が発生した介護事業所等が、サービス継続のために要した消毒、PCR検査等の経費に対して助成を行うことにより、必要な介護サービスの継続提供につながった。
108	補	無線システム普及支援事業費等補助金	（高度無線環境整備推進事業） 遠隔教育や遠隔医療、テレワーク、オンライン申請等のICT利用を支える情報通信基盤整備を促進するため、光ファイバ未整備地区への整備を行う事業者に対して助成するもの。	2021.2	～	2022.3	127,715,000	14,414,000	光ファイバ未整備地域であった本市の中山間地域において、民設民営方式により光ファイバが整備され、光ブロードバンドサービスの提供が開始された。	本事業を実施することで、光ファイバ未整備地域の解消が進むとともに、当該地域の住民にとって、遠隔教育や遠隔医療、テレワーク等の「新たな日常」に必要な情報通信インフラが整備された。
109	単	無線システム普及支援事業費等補助金 (地方単独分)	（高度無線環境整備推進事業） 遠隔教育や遠隔医療、テレワーク、オンライン申請等のICT利用を支える情報通信基盤整備を促進するため、光ファイバ未整備地区への整備を行う事業者に対して助成するもの。	2021.2	～	2022.3	127,717,000	14,415,000	光ファイバ未整備地域であった本市の中山間地域において、民設民営方式により光ファイバが整備され、光ブロードバンドサービスの提供が開始された。	本事業を実施することで、光ファイバ未整備地域の解消が進むとともに、当該地域の住民にとって、遠隔教育や遠隔医療、テレワーク等の「新たな日常」に必要な情報通信インフラが整備された。
110	補	学校臨時休業対策費補助金	（学校給食費返還等事業） 事業者に対して既に発注された学校給食用食材の発注取消に係る負担金を支払うもの。	2020.4	～	2020.11	3,743,828	936,000	学校臨時休業にあたり、すでに発注済みの学校給食用牛乳約18万本に対する違約金を負担した。（令和3年3月6日から24日の給食停止分）	学校給食の臨時休業における食材費に対し、事業者負担の軽減を図ることができた。
111	単	特定不妊治療助成事業費	ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現のために、子どもを産み育てやすい環境づくりとして実施する特定不妊治療への市独自上乗せ助成を実施するもの。	2021.1	～	2021.3	9,579,934	4,789,000	体外受精及び顕微授精ならびに特定不妊治療に至る過程の一環として行った男性不妊治療に対し、6回までの助成を行った。	294組の夫婦に対し、合計483件（うち男性不妊治療3件）の助成を行ったことで、新型コロナウイルスの影響を受ける方の心理的・経済的な支援につながった。